

女性読者モデルオーディション

ドクモスカウト DOKUMO 2011



参加者 大募集

第1次審査 vol.11

東京湾海堡～竹岡沖のカサゴ
東京湾奥金沢八景 新健丸
写真/文●本誌編集部



11thチャンピオン
佐次本 智香さん
さじもと ちかプロフィール

- 1983年生まれ24歳
- 趣味 釣り、旅行
- 職業 会社員



●週1～2回ペースで釣りに行っています。エサ釣りはなんでも行きましたが、とくに小魚を釣るのが泳がせ釣りが好きです。自分の実力がどの程度か知りたくて応募しました。



型狙い終了！
次は数釣りにも挑戦よ！

●両手に良型カサゴでご満悦の佐次本さんでした



●後半はいいペースで数を重ねていく

カサゴの型狙い終了！
数釣りに挑戦よ！

エサの準備は済ませよう！

●黒いベールは神秘的。女性に日焼けは大敵なのよ

●カサゴ釣りは2度目、もうハマったようです
●カサゴの他に良型メバルも多数ヒット
●負けじとメバルも釣っていた

と気合を入れたところ
で移動の合図。今度は
観音崎沖の浅場で、や
はり良型狙いとのこと
である。
水深はなんと5メー
トルほど。船長秘蔵の
ポイントらしいが、こ
れは評価に値する。
午前、船長は竹岡沖に移動す
ることを全員に告げる。昨日竿
頭で85尾を釣ったポイントだが、
型はひとまわり小さくなるよう
だ。



●第二海壁周り～竹岡沖5～15メートルまで広範囲に狙った



●25センチを超える良型カサゴも飛び出した



●レギュラーは20センチ前後、放流サイズは少なかった



●食いが立ってくると一荷釣りも頻繁だった



●竹岡沖ではマダコも頻繁に乗ってくる



●シリヤケイカはこの時期ならではのゲスト

智香の感想
●前半は型狙いのポイントだったのに根掛かりや高切れでみなさんにご迷惑をおかけしました。オモリを少し上げるというアドバイスをいただき、移動した後半は型は小さいながらもたくさん釣れて、とても勉強になった一日でした。次は尺超えを釣ってみたいです。

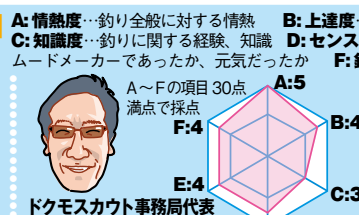
●何かしらアタリがくる展開に彼女も真剣に釣り続けている。午後2時半に納竿。船中では15～27センチを10～33尾、ゲストはメバル、アジ、シリヤケイカなど。彼女は28尾と大健闘。船長や乗船者からも祝福され、大喜びでの帰還となった。

新健丸船長の目 Captain
(テクニック中心に20点満点で採点)

新明 秀幸船長
16点 ●手慣れた感じはしました。釣果もまずまずですがもう少し手返しよく釣れば満点に近かったです。

探点者の目 Marker

カメラ担当 時田 真吉
19点 (ビジュアル中心に20点満点で採点)



ドクモスカウト事務局代表 徳永 隆也 24点
●練習釣行では釣果が振るわず自信がないと言っていたけど、経験が実を結んだようですね。根掛かりしたりバラしたり、船上での一喜一憂を見ていると本当に釣りが好きだというのがよく分かりました。

総合得点 Score 83点
100点満点
※この点が一次審査の持ち点になります



●胸つき2本バリ仕掛けにオモリ30号。エサは通常のサバの切り身に豆アジも付いてくる

今回登場する佐次本智香さんは20代のうら若き女性ながら、すっかり釣りにハマってしまっただバリバリの釣りガール。今回の釣り物がカサゴと決まったと知って、練習釣行までこなしてきたというから、意気込みは相当なもの。
本番は金沢八景の新健丸からの出船。このところ釣果も安定しているのか、どれだけ釣ってられるかを期待したいところだ。梅雨明け直後の7月13日は出船前から強い日差しが照りつけ、猛暑日となるのを予感させていた。それでも連日の好釣を聞きつけてか、平日にもかかわらず18人の釣り客が集まった。
7時40分に出船。新明秀幸船長はまず型狙いを全員に告げ、第二海堡周辺の10メートルダチ

で船を止めた。さすが練習してきただけあって、エサ付けから投入までは教科書どおり、スタッフがアドバイスすることは何一つない。15分ほどして上がった船中第1号は、25センチに近い良型。その後もポツポツながらカサゴは上がるものの、船長は今一つ不満顔。
「どうも釣れるペースが今一つですね」
30分ほどして彼女にも第1号となる20センチ級が釣れ上がり、ホツとした表情。さあ、これから



●初ヒットにキタッ！と声が出てしまう